

平成27年度 本部事業報告

1. 概況

平成27年度は、本部のコーディネート機能をより一層強化することを目標としていた。しかし、事業計画の重点項目を欲張りすぎたこともあり、実現を果たすことができなかった。

障害事業所は過去2年間大幅な赤字経営が続いてきたが、職員の削減、新規利用者の開拓を通して、黒字化が見えてきた年度であった。

2. 事業の実績

(1) 理事会・評議員会の開催

平成27年5月19日 平成26年度事業報告及び決算報告、経理規定の一部改正

平成27年10月27日 平成26年度決算額の変更、県指導監査結果及び改善策、第1次補正予算、処遇改善手当支給に係る内規

平成27年12月14日 診療所事業の今後

平成28年3月17日 診療所事業の今後、定款・規定類の変更、第2次補正予算、平成28年度事業計画及び予算

(2) 診療所独立に伴う収益事業立ち上げの検討

3. 事業の重点結果

(1) 法人本部のコーディネート機能の強化

所長会を12回、園長会を17回実施し、事業所間で経営意識の統一を進めてきた。旅費規定も所長会、園長会で詰めて、改訂を図ることができた。また、事業計画、報告を事業所と本部が一緒になって練ったことで、事業内容の整理及び大幅なブラッシュアップを図ることができた。所長、園長の合同会議は1回（予定は3回）開催することができ、事業所の主要な課題を相互に共通認識することができた。

本部職員による事業所訪問は実現できていない。

(2) 職員人事考課及びキャリアパスの検討

職員面接の徹底を図り、所長会、園長会を通して面接内容の共有を図ることができた。人事考課及び、キャリアパスに応じた給与規定のあり方は、引き続き検討していく。

(3) 新会計システムへの移行及びホームページの充実

会計システムはベンダーの教育も受け、入力業務もスムーズに進み、タイムラグが小さく試算表まで出力できるようになった。ホームページは、5園+かっぱどっくりについて追加のページを準備し、更新を充実することができた。

(4) 福利厚生事業の充実

「平塚市勤労共済」「湘南勤労共済」の新規加入した結果、かなりの利用を図ることができ福利厚生の充実を実感できた。

(5) 法人研修の企画

実現できなかった。平成28年度の課題である。